

柔道男子73^キ級

吉田(大垣) 2位

空手男子 団体組手 県岐阜商8強逃す



《第12日》

全国高校総体(インタハイ) 第12日は8日、



柔道男子73^キ級で準優勝した吉田優平

福岡市民体育館などで6競技を行い、柔道男子73^キ級の吉田優平(大垣日大)が準優勝した。吉田は、準々決勝と準決勝を一本勝ちして決勝に臨んだが、昨年準優勝の相手に敗れた。空手男子団体組手の県岐阜商と、剣道女子個人の乗田美紀(麗澤瑞浪)は8強を逃した。

テニスの男子シングルスは1年生の徳田廉大(神奈川・湘南工大付)が団体に続いて頂点に立ち、女子は2年生の牛島里咲(長野・地球環境)が初制覇。ダブルスの男子は上杉海斗、矢多弘樹組(大阪・清風)、女子は西口真央、上唯希組(兵庫・園田学園)が制した。レスリング男子団体は

県勢記録

◇柔道◇

▽男子60 ^キ 級1回戦 宮之原誠也(福岡・大牟田) 背負い投げ 荒井大嗣(岐阜高専)	▽同66 ^キ 級2回戦 末木貴将(広島・近大広島高福山) 優勢 伊藤寛康(大垣日大)	▽同73 ^キ 級2回戦 吉田優平(大垣日大) 優勢 芦田弘毅(大阪・東海大仰星)	▽同3回戦 吉田優平(大垣日大) 優勢 岡田大希(東京・日体津原)	▽同準々決勝 吉田優平(大垣日大) 一本背負い投げ 渡辺智輝(群馬・高崎商)	▽同準決勝 吉田優平(大垣日大) 横四方固め 染谷大(千葉・木更津総合)	▽同決勝 同決勝
--	---	---	---	--	--	-------------

吉田 積極的な攻め貫く

きりり

積極的な柔道を買った。柔道男子73^キ級の吉田優平(大垣日大)は準優勝。「本調子ではなかったが、気迫で乗り越えることができた。今後の自信になる」と振り返った。

第一関門となったのは3回戦。昨年のインタハイ王者を都予選で下して勝ち上がった実力と勢いのある相手だった。「誰であろうとひるまず、先に先に技を仕掛けよう」と得意の内またを中心に連続攻撃。相手を消極的な姿勢として反則を取られると、吉田の

ポイントリードのまま迎えた終了間際。強引に内またを仕掛けてきた相手に対し、内また返しで有効を奪って優勢勝ちした。

だが決勝では、昨年のインタハイ準優勝者の前に涙をのんだ。相手有利の組手を許すと、そのまま背負い投げを浴びた。「胸を借りるつもりでぶつかって行ったがダメだった。相手の駆け引きなど技術面で未熟さを痛感した」と悔しがる。全国中学校体育大会3位、昨年の全日本カデテ重別選手権で優勝するなど輝かしい成績を残してきた吉田にとって、高校全国レベルの大会では今回が最高の成績。現在2年で「もっと成長して来年は優勝する」と力強く語った。(富樫一平)

山本悠司(北海道・帯広農) 背負い投げ
吉田優平(大垣日大)